報 告

災害フォーラム「斜面市街地の自然災害と都市・建築の備え」

Forum on “Preparation for Urban and Buildings at Sloping Terrain against Natural Disasters” in Nagasaki

前田潤滋^{*1} 友清衣利子^{*2}

Junji MAEDA, Eriko TOMOKIYO

1. はじめに

近年の自然災害の多発により、一般住民の防災意識は非常に高く、自然災害に備える体制として「地域防災力」の向上が求められている。本会は強風災害に関する知識と情報の普及や防災対策への支援を目的に、市民や自治体職員等を対象にした災害フォーラムを他学会と協力して九州各地で開催し、特に地域の特性に関連した討論を行ってきた。

今回の災害フォーラムは長崎市で開催された。同市の特徴である斜面市街地での災害に注目して、防災まちづくりのあり方を討論することになった。日本風工学会と日本建築学会災害委員会、日本建築学会九州支部との共催で企画を進めた本フォーラムは2013年11月8日に長崎市市民生活プラザホールで開催された。

2. 講演概要

福岡大学高山峯夫教授（日本建築学会九州支部災害委員長）による開会挨拶と趣旨説明があり、続いて5人の講師による講演が行われた。

まず、長崎総合科学大学の村田明久教授より、斜面市街地における防災まちづくりと題して、長崎での災害の歴史が紹介され、まちづくりの視点から、斜面市街地の問題点が示された。続いて、九州大学の前田潤滋教授から強風災害とその備えと題して、建物に作用する強風の問題、特に竜巻と台風による被害の特徴や

対策が解説された。長崎大学の高橋和雄教授からは、長崎の三大水害の概要とその後の対応や防災対策の変遷が解説され、近年の頻発する強雨災害の概要や対策が合わせて示された。次に長崎市消防局予防課の伯川秀人課長より、長崎市特有の斜面市街地の特徴および防火面での課題が多くの写真を見せて具体的に解説され、地元での防災訓練の様子などが紹介された。最後に長崎市防災危機管理室の前川文雄室長より、長崎市の防災・減災への取り組みと題して、長崎市の地形や気候の特徴、これまでの災害からの教訓、避難のあり方、自主防災組織など、地元で行われている地域防災力向上のための取り組みが紹介された。講演後には講師陣との意見交換の時間が設けられ、斜面市街地の特性を反映した討論が会場を交えて行われた。

3. おわりに

長崎市で開催された災害フォーラムは、斜面市街地という地域性を強く反映したものとなり、約30名の参加があった。本フォーラムが長崎地域の総合防災力向上への一助となれば幸いである。

謝辞

フォーラム開催にあたり、長崎県、長崎市、長崎総合科学大学の後援を得ました。また、フォーラム実施では、長崎総合科学大学の関係者にご協力をいただきました。末筆ながら記して謝意を表します。

* 1 九州大学大学院人間環境学研究院 教授
Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University

* 2 九州大学大学院人間環境学研究院 助教
Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University